

An aerial photograph of a city, likely Yamanashi, with Mount Fuji in the background. The city is densely packed with buildings, and the mountains are visible in the distance. A large teal circle is overlaid on the center of the image, containing the title text.

甲府まちなか 未来ビジョン 2024

2024年3月
甲府まちなかエリアプラットフォーム・甲府市

1. はじめに	3
• ビジョンとは	
• 甲府まちなかエリアプラットフォームとは	
• 検討経緯	
• ビジョンの概要	
• 参考 妄想一覧 その①	
2. まちなかエリアについて	13
• 甲府市の概要	
• 対象範囲	
• 現状と課題	
• 「日常的な魅力」を生み出すポテンシャル	
• わたしたちは何をすべきか？	
• 参考 妄想一覧 その②	
3. 目指す将来像	24
• 目的地とそこへ至るルート	
• ビジョンのコンセプト	
• 実現するための戦略	
• リーディングエリア候補	
• ビジョンの全体骨格	
4. 実現に向けて	32
• リーディングプロジェクト候補	
• 今後の事業スケジュール（想定）	
5. おわりに	43
資料編	45

01

はじめに

甲府まちなか未来ビジョンとは

甲府のまちなか暮らしの魅力を高めるために、行政と民間が手を取り合ってつくるビジョン
2023年度に基本的な考え方を示し、2024年度にその考えに基づいた実践活動を踏まえて完成させる

ビジョンをつくる目的

まちなかの持つゆたかな資源や特性を活かした
甲府のまちなかならではの魅力的なライフスタイルを実現するために
行政と民間が連携して取り組むべき方向性を示すこと。

ビジョンをつくらうとした背景は？

まちなかは、様々な課題や転換期に直面している！

- ① 居住世代バランスの偏りや活力の低下、空き家・空き地等の増加など、**まちなかエリアの抱える様々な課題**の解決を図っていきたい！（くわしくはp.16-19）
- ② 新型コロナをきっかけとしてライフスタイルの多様化がはじまりつつあることや、リニア中央新幹線の開業は、**まちなかにとって大きな転換期**。だから今こそまちなかのあるべき方向性を見つけ、的確に舵取りをして転換期を乗り越えていきたい！

これまでの行政の計画や取り組みと何が違うの？

「**公民連携**」でつくっていくこと！

- ① **公（行政）と民（民間）のそれぞれの得意分野を持ち寄って実行していこう**という点が、今までの行政計画や民間団体への補助金支援などと異なる。行政だけでも、民間だけでもできなかったことを成し遂げることを目指す！
- ② まちなかに一過性の盛り上がりをつくるのではなく、**日々の暮らしの魅力を持続させていく**ための視点、つまり、「まちなかを運営する」視点でのマネジメントの方向性を示していく！

公民の連携はどうあるべきか？

公と民の連携は、それぞれの得意分野を持ち寄ることが重要です。それでは、それぞれの得意分野とは一体なんでしょうか？本ビジョンでは、以下のように整理をしました。このような得意分野の違いを生かして、公民の効果的な連携の促進を目指しています。

公民連携の「公」「民」とは？

公：行政のこと。甲府市、山梨県、国機関などが該当。

民：パブリックマインドを持つ民間事業者のこと。
本ビジョンでは「プレイヤー」とも呼ぶ。

あるべき公民連携とは？

民の得意分野



- ✓ **魅力的なコンテンツづくり**
「楽しい・面白い・かっこいい...」をつくるのは公より得意！
- ✓ **事業として運営していくこと**
利益を再投資し、事業として継続的に運営することができる！

+

公の得意分野



- ✓ **まちなかに多くの公共空間を持っている**
広場や道路等の公共空間を民間が使えるよう支援ができる！
場合によっては、それらの整備ができる！
- ✓ **一時的な事業支援ができる**
公益性のある事業には、立ち上げ時の社会実験等の費用を支出することができる！

日々の暮らしをずっと魅力的な状態にしていくためには・・・

- 民が事業主体となって自走するプロジェクトをつくる
- 公は民の自走化を支援し、併走していく

「民主導・公支援」の公民連携を！

ビジョンで公民連携の後押しがしたい！



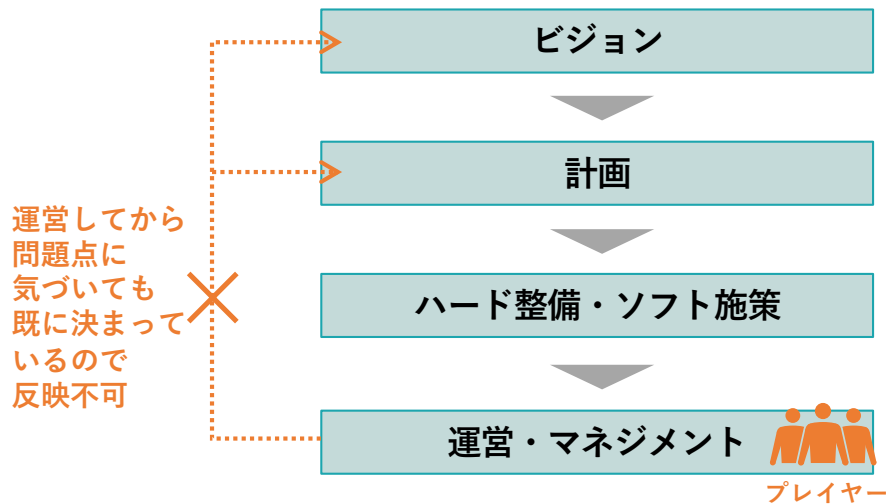
ビジョンのつくり方：プレイヤー視点でビジョンをつくる

まちなかの日々の暮らしの魅力を持続させるためには、事業として自走できるプロジェクトに仕立てていく必要があります。つまり、**まちなかの暮らしを魅力的にする場やコンテンツの運営・マネジメントがとても重要**になります。

そのため、本ビジョンづくりには、運営やマネジメントを担うプレイヤー（パブリックマインドを持った民間事業者）に参加してもらい、これらの**プレイヤーが「運営していきたい！」と思えるビジョン**を目指しました。今後は、社会実験を通じて運営の実現性を検証・改善しながら進めていきます。

従来の方法

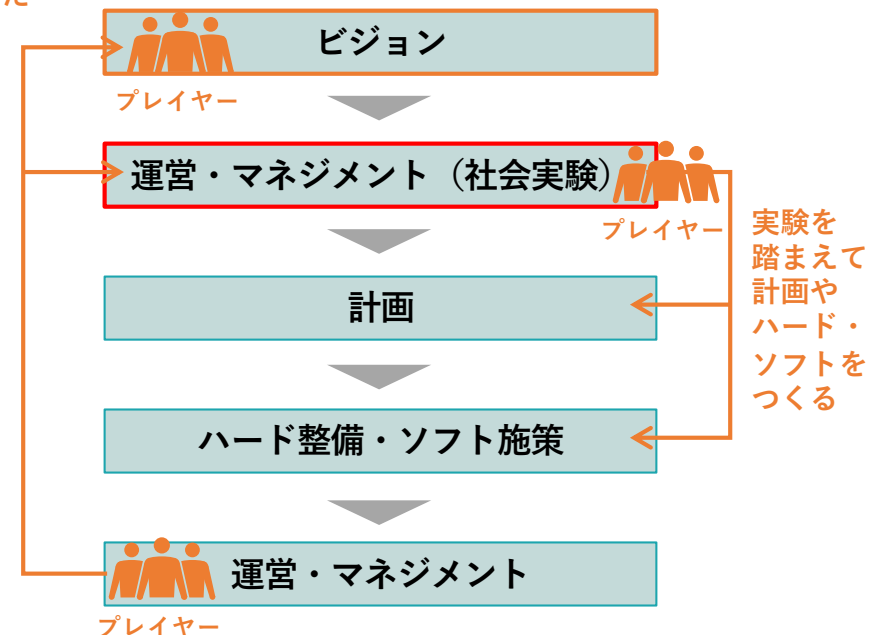
上から決まっていくので、実際に運営をしてみてもうまくいかなかったとしても計画や整備に反映できない



本ビジョンの方法

運営・マネジメントに関わるプレイヤーがビジョンづくりにも関わることによって、「まちをつかう・運営する」側の目線で計画が作られ、ハード・ソフトに反映されていく

運営の視点をもったプレイヤーがビジョンづくりや社会実験に関わる



01 はじめに | 甲府まちなかエリアプラットフォームとは

甲府まちなかエリアプラットフォーム（略称AP）とは

甲府まちなかエリアプラットフォームは、ビジョンの検討・実現を議論する場です。

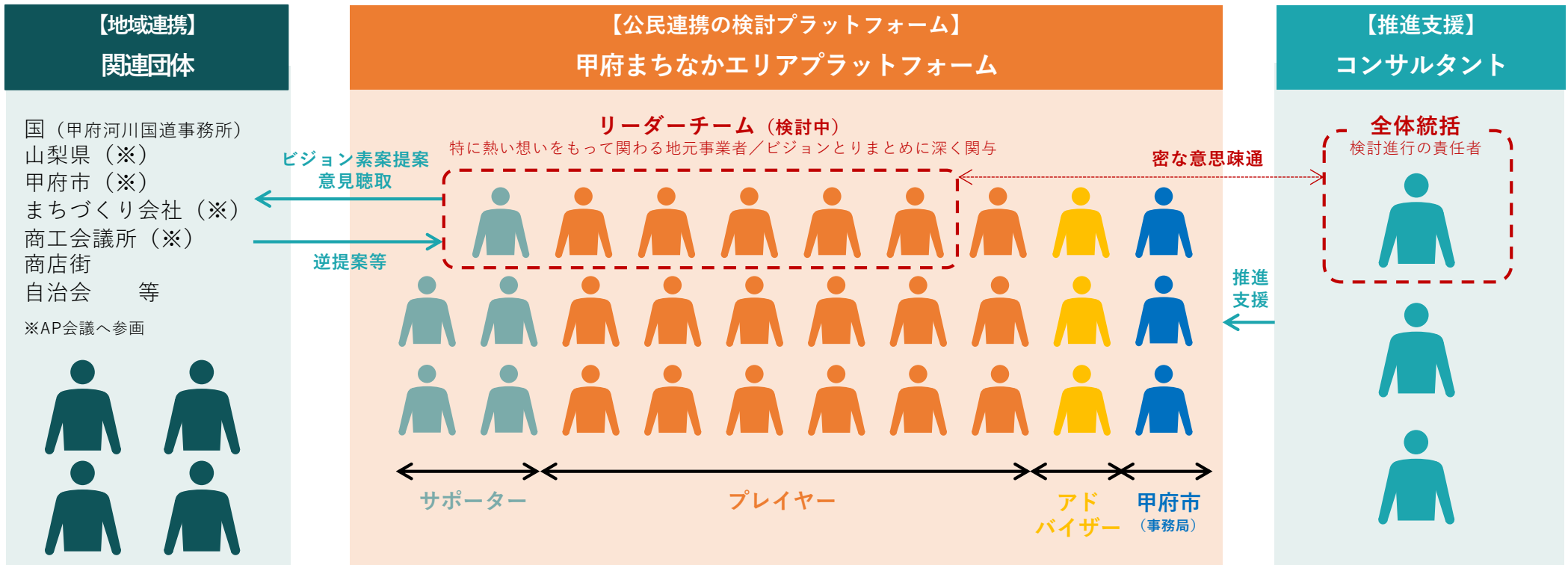
甲府のこれからの考え、パブリックマインドを有し主体的に動く民間事業者の方々と行政、また専門知識を有するアドバイザーを中心とした構成で、まちなかの運営視点のビジョンづくりを目指しています。

なお、今後は、ビジョンの実行に向けたアクションをとりまとめていく場に発展させていく予定です。

「民」メンバーの役割

- **プレイヤー**：ビジョンに基づくアクションを主体的に、時にリスクもって実践する役割
- **サポーター**：「プレイヤー」やAPに対して前向きな支援をする役割
- **アドバイザー**：まちづくりや景観、交通等の専門的な知見を有し、その観点から助言をする役割

■ エリアプラットフォームの推進体制（2023年度）



01 はじめに | 検討経緯

2022年度からまちなかで活動されるさまざまな民間事業者の方々にお話を伺い、ビジョン検討の進め方について考えました。2023年6月にエリアプラットフォーム（略称：AP）を立ち上げ、年度末までに5回開催したAP会議でビジョンの検討を進めました。

■2023年度における検討経緯（6-11月）

第1回エリアプラットフォーム会議（6/6）

- エリアプラットフォームメンバー紹介
- 官民連携まちなか再生推進事業とは？
- エリアプラットフォームとは？
- メンバーでの意見交換！



第2回エリアプラットフォーム会議（10/31）

- 他地域のまちなか再生・エリアプラットフォーム事例のレクチャー（気仙沼市事例）
- メンバーでの意見交換！



第3回エリアプラットフォーム会議（11/29）

- 甲府まちなかのこれからのむけて、共有したい考え方、価値観等について対話
- 甲府の公共空間のポテンシャルについてのレクチャー（UPS研究会の検討成果紹介*）
- **ポテンシャルの高いまちなかの公共空間についての議論！**



6月

7月

8月

9月

10月

11月

まちの方へのヒアリング

- 2022年から約1年間かけて、まちなかで様々な活動を行う方50名以上へヒアリングを行いました。まちなかの可能性、課題、思いなどについてお伺いし、意見を交わしてきました！



第1回市役所庁内勉強会(11/24)

- これからの**公民連携まちづくりに庁内部署横断で取り組んでいく必要があることから、様々な部署が集まる庁内勉強会を開始しました！**
- 講師：尾崎信Neighverse（株）
- テーマ：他地域における**ビジョンづくりや公共空間活用**について



* UPS研究会：（公財）都市づくりパブリックデザインセンターが設置した、都市内パブリックスペース(UPS)のあり方について検討する研究会。このうちデザイン&マネジメント部会は甲府市もメンバーであり、2022-23年度に甲府中心市街地にてケーススタディを実施。まちなかの特定エリアの公共領域に対する「公共空間戦略」のたたき台を作成し、第3回AP会議や第3回庁内勉強会で成果報告を行った。

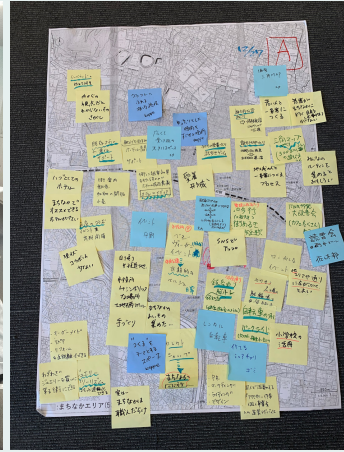
01 はじめに | 検討経緯

まちなかに関心を持つ人、まちに暮らす人・訪れる人などさまざまな方の意見を取り入れながらビジョンの検討を進めるため、参加型情報メディア（Web）、イベント、社会実験など、できるだけ多くのチャンネルで意見や反応を集めてきました。

■ 2023年度における検討経緯（12-3月）

第4回エリアプラットフォーム会議（12/20, 12/27）【拡大開催 = AP以外の民間プレイヤーも参加！】

- APメンバーだけでなく、本取り組みに関心をもってくださった約20名の民間事業者の方にも参加していただきました！
- 全員で「妄想タイム」ワークショップ=まちなかで自分がやってみたいことを提案
- 「妄想タイム」の内容をエリアプラットフォームメンバーで振り返り・議論



第5回エリアプラットフォーム会議（3/5）

- 2023年度版ビジョン案をAPメンバーで確認し、修正方針を議論！
- 今後の活動方針などについて確認・意見交換



12月

1月

2月

3月

第2回市役所庁内勉強会（12/25）

- 講師：小島博仁氏（一社）せんだいりノベーションまちづくり実行委員会
- テーマ：「行政が変われば街は変わる～官民連携まちづくりの必要性～」

ビジョンテーマへの意見募集(2/9-3/10)

- 参加型情報メディア「my grooveこうふ」内で、エリアプラットフォーム内での議論のから導き出したテーマについて、意見募集を実施！
- 市内のイベント、社会実験などオフラインでも意見募集を実施！



第3回市役所庁内勉強会（2/29）

- 講師：野原卓氏（横浜国立大学・UPS研究会*）、田中泰典氏・中山佳子氏（UPS研究会*）
- テーマ：「公共空間を用いてまちを豊かにすること」「公共空間戦略」

社会実験「みち活チャレンジWEEK」(3/4-10)

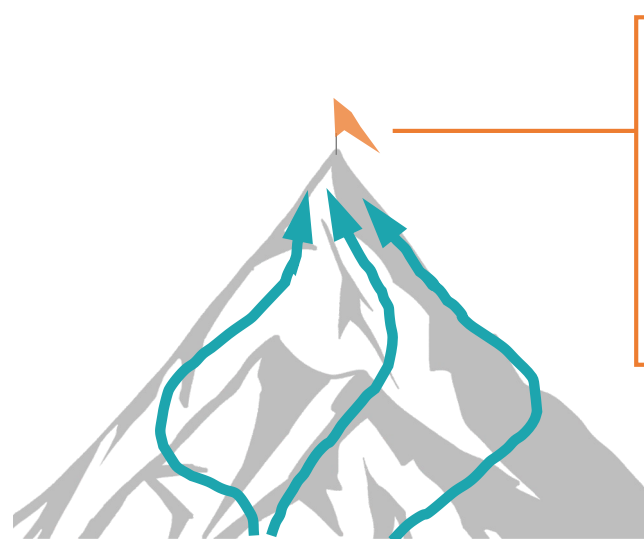
- 公共空間をより使いやすくするため、申請手続き等の円滑化を実験・検証する「みち活チャレンジWEEK」をオリオン通りで実施。



01 はじめに | ビジョンの概要

ここでは、本ビジョンの概要を先にご紹介します。まちなか暮らしの魅力を高めることを登山に例えると、本ビジョンには目的地（山頂）とそこへ至るルートが書かれています。甲府盆地のもたらす恵みに感謝しそれを活かすことを基本とし、3つの戦略の柱をもって、甲府の地元の方々がまちなかへの愛を深め、まちなかで過ごす時間が増えることを目指しています。

実現したい状態とコンセプト



- 大きなルートの設定
- 個々の詳細なルート

次ページへ

□ 目的地 = 実現したい状態

甲府まちなかの魅力的なライフスタイルが実現し、
地元の人々がまちなかでの暮らしを大好きになり
まちなかで過ごす時間が増えていること

□ コンセプト = 目指す将来像達成にあたり、大切にしたい考え方

360° やまなし

愛があふれる、人が自然とまざりあう
豊かなこうふく文化都市

山梨県甲府市は、名山に囲まれた美しい盆地です。
その地形から、多様な産物、技術、人々などが集まり、この場所で交わり合います。
また、甲府城跡からは山々の美しい稜線と景観を、ぐるっと一望することができます。
この恩恵に感謝しながら、まちづくりに活かしていくことで、
自分たちの暮らしの幸せや豊かさを探求していくことを目指します。

01 はじめに | ビジョンの概要

戦略の3本柱と先行的に取り組むエリア／プロジェクト

目的地へと至るルート（＝戦略）は、大きく3つあります。「場」を磨き込むこと、甲府らしい味付けの活動を生み出すこと、まちなかを回遊しやすくすることの3つです。

それぞれに重点的に取り組むべき具体性のあるテーマを設定し、また公・民の力を集中させるリーディングエリアを定め、プロジェクト（＝個々の詳細な登山ルート）を展開していきます。

□ 大きなルートの設定 = 戦略の柱

戦略の柱 ① 「出かけたくなる」をもっと！

01

まちなかの余白を磨いて
居心地がよく
出かけたくなる場をつくる

いままではまちなかの「余白」だった場所を磨き込んで、出かけたくなるまちなかにしたい

戦略の柱 ② 甲府らしいヒト・モノ・コト！

02

甲府らしいヒト・モノ・コト
の掛け合わせによる活動を
展開していく

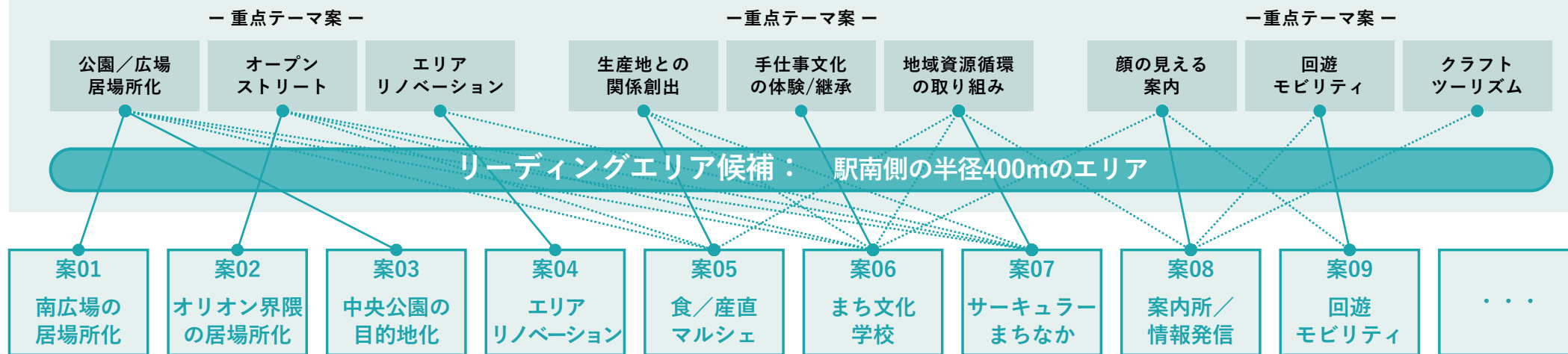
ヒトを起点として、甲府らしいモノやコトを掛け合わせた、甲府のまちなかならでの活動を展開していきたい

戦略の柱 ③ 行きやすく&回遊しやすく！

03

まちなかへのアクセスや
回遊を改善する方法を
試行し定着させていく

まちなかへのアクセスや回遊について改善方法を考え、定着化に向けた試行をはじめたい



□ 個々の詳細なルート = プロジェクト

リーディングプロジェクト候補

【駅ビル屋上の活用@セレオ甲府】**駅ビル屋上を地元企業に利用してもらいたい。**データを見ると歩いてくる人が多い。周りにビルもないので音出しもOK。

【若者の居場所づくり@駅前・駅ビル】**駅前に学生が集まれる場所**があるといい。駅前や駅ビルでのスケボーが問題化している。

【音で遊ぶ場をつくる@舞鶴城公園】**舞鶴城公園に音あそび空間**をつくる。ダンス、ダブルダッチ、DJ、ライブetc。

【滞在性の向上@舞鶴城公園南広場】おしろランド前の道路を歩行者天国に。コンクリを剥がして芝生と木の緑道にしたい。近くのお店のテラス席にも芝生を。手入れ手伝います。／**舞鶴城公園と南広場にアウトドアテントやシートチェア**を置く。／南広場の周りに座れる階段状の座席を作る。

【広場の面白い使い方@舞鶴城公園南広場】舞鶴城公園南広場や県庁広場で花火や焚き火をしたい。／**お堀に舟を浮かべて花見**がしたい。／お堀でSUP拡大版をしたい。シャワーや親水空間など、そのための設備もできるといい。城は文化財なのでお堀に入れる特別感がある。

【中央公園などの公園の再生】中央公園の再生は不可欠だと思う。／中央公園はガラッと変わると良い。丸の内公園も現状よくない。カラスのフンが多すぎるのはなんとかしたい。現状喫煙者が多いイメージ。／**中央公園をスケートボード広場**にする。／スケボーはオリンピック競技にもなっているし、若者が来るきっかけになる。／中央公園のスポーツ活用(バスケットなどいい)／中央公園に、大人が基本入れない子供の秘密基地的な場所をつくりたい。／犬の飼い主は自然とコミュニティができあがるので、ドッグランがどこかにあればと思っていた。

【ちょうちん横丁で外飲み】**屋根つけてちょうちん横丁で外飲み**できるようにする。

【店主が替わるバーなどのお店@南口】**日替わり店長のバー**。街中の店を知るチャンスにも、場を持つチャレンジにもなる。

【スポーツの場所や機会づくり】まちなかでのサッカーやフットサル大会(できれば天然

芝コート)。サッカーボウリングは実施経験あり。／**ヴァンフォーレの試合と運動したまちなか**イベント。チケットが安くなるなどの工夫。

【昼寝ができる場】温かい時期は舞鶴城で昼寝をしていることがある。冬の時期の昼寝の場があったら良い。

【まちなかでの滞留のサポート:チェアリング・レンタルスポット】**ピクニックシートやチェア、ベビーカーなどのレンタル**をしてくれる場所をつくる。(自分達も現在シートの貸し出しを行なっている。)／銀座通りでほこみち制度を活用し、スツールやベンチの製作、貸出しを行いたい。

【武田神社への参道を歩きたくなるように】武田神社付近でウォーキングのような格好で歩く人が結構いる。**もっと歩きたくなる道へ**整備してほしい。

【学びの場を開く@山梨大学】**山梨大学の学びが知れる場**がほしい(大学の施設などを開く)→ものづくり実践センターや水素燃料電池の施設、図書館など見どころが多い。

【歩ける環境づくり@朝日通り商店街】**朝日通りをもっと面白く**したい。電線地中化の地上機器が無愛想なのでペイントしたり、駒止状の照明をペイントしたりステンドグラス化したい。

【中高大学生の居場所づくり@北口県立図書館周辺】**若者の居場所**が少ない。お金がなくてもいられる場所があまりない。大人が見守ってくれて、かつ無料でいられる場があると良い。／駄菓子屋という場も良い。(羽黒で実践中)子どもなどが自分たちで店を観察してルールをつくる面白さがある。親には言えなくても、駄菓子屋のおばちゃんに言えることもある。

【文化ホールの帰り道の余韻を楽しめるように】県民文化ホールが遠いため、**歩いて帰る道すがら余韻**を楽しめない。

【リノベーションによる魅力的な拠点づくり】エールハウスをつくる。(来春実現予定)／**古い印象的な建物をリノベーション**してアートセンターに。(北京のArea 798を参照。)

【銭湯の再生】銭湯をきれいに建て替え、行きやすい雰囲気にする。／墨田区の黄金湯など、事業承継で面白くなっている銭湯がある。番台がDJブースになったり、絵描きが壁画をペイントしたり、上が宿泊施設だったり。松本の本屋が目の中の銭湯を事業継承した例もある。／**甲府のまちなかの温泉も事業形態や内装を変えれば蘇る**。サウナがあっても水風呂がないケースなどは設備面もテコ入れが必要。／駅から歩いて行ける範囲の銭湯が少ない。昔はもっとあったが廃業してしまっている。そういったところを活用して、サウナ有りの銭湯が復活できたら良い。／甲府は丸の内エリアなど、まちなかでも掘れば温泉が出てくる。

【山登り客を乗せていく銭湯送迎/周遊バス】菊乃湯に行くと山登り客が来ているが、その後も汗かいてしまう。車で色々な温泉を回る社会実験などありうるかもしれない。／**銭湯があれば他の場所にも色々行く**ようになる。お腹も減る。

【密集市街地のサウナづくりリノベーション@穴切周辺】再建築不可の建築が集積しているエリアの**路地を生かして**サウナヘリノベーション→路地を抜けたら荒川に飛び込む。

【わざわざ行きたくなるホテルづくり】既存ホテルの進化やホテル開業のサポート。／**ただ泊まる場所というだけでなく、メディア、ハブとしてのホテルの意義**を発揮させたい。

【まちなかに屋台を!】簡易に組み立てられて、手続きも楽なポップアップスタンドがほしい。／**屋台!**／昼飲みがしたい。上野のホッピー通りや赤羽のような雰囲気ほしい。【ウォークアブルな道路の実現】道路に椅子、テーブル、植栽などを置く→人がいないと言われるが滞留できる場所があれば集まってくるのでは。見てワクワクするようなものが路上にあると立ち止まる。／よその街でも歩いて楽しい街とそうでない街がある。／**春日日本通など安心して歩ける通り**にしてほしい。

【人の流れ/回遊の創出】甲府の飲み屋街は、岡島周辺・以北とかすがもーる以南に二分され、回遊がない。かすがもーるの先にあった旧キャバレーであるプラザコアを再開発して

駅から歩いて来る目的性をつくる。点と点を繋げる。人の流れをつくれるようにしたい。

【自然環境を生かしたアクティビティ誘発施設】学生は自転車をよく使うので、**川沿いなどのサイクリングロードをもっと面白く**してはどうか。／川でピクニック。芝生ピクニック。／武田の森にマウンテンバイクのコースをつくる。

【音楽や食のイベント@甲府駅ビル屋上】昔からまちなかでの音楽フェス開催が夢。騒音音問題で公園や空き地ではできないので、セレオの屋上でできないかと思っている。／**甲府駅屋上音楽&食**のイベントをやりたい。／ビル屋上を使った期間限定のワインバー。

【BBQ@舞鶴城公園南広場】**南広場でBBQ、焚火**をしたい。

【大型イベントを使ったパブリックビューイング@市役所】市役所の**大型ビジョンでサッカー観戦**。

【ヴィーガンイベント@市役所1F駐車場】年に1回のヴィーガンイベント→**日帰り好適地を生かした目的地**として。

【定期的なマルシェ@中央公園】上記イベントをだんだんと**日常的・定期的なマルシェへ**。

【ローカルイベントのエリア内波及】カワセミ広場などの子ども向けイベントなどを、**他の商店街とも連携**し、銀座通りでも一緒に行くなど。エリアや通りに広がっていくと良い。

【回遊型イベント/ツアー】仙台定禅寺ストリートジャズフェスティバルのような**まちなかの至る所にステージがあるライブ**イベント。平和通り各所にステージがあるとか。／甲府を知る街歩き企画。建築ツアーやまちなかの自然を探すツアー。／2時間コースで甲府の人に見えるツアーみたいなのをやってみよう。／回遊型のミニサッカー大会やドリブル大会。／まち歩きゲームなどを行い、子どもがまちなかに愛着をもつようにする。

【生産地との関係づくり】**ファーマーズ・マーケット**を開催する。(よっちゃばれ広場、舞鶴城公園南広場)／先端技術にまつわるTED Talkを実施する。(農業xスマートは相性よい。)